


2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	実施日	毎月第 2 日曜日
代表者	久保田 慎三郎	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	河川敷整備清掃と意義を高める自然体験		
活動目的	ハリエンジュ、アレチウリなどの外来植物の駆除を進めて生物多様性を守り、不法投棄ごみによる汚染発生抑制を行うとともに、自然体験を通して環境保全を進める。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、除伐等による外来植物の駆除、河畔林の保全管理 ・不法投棄されたゴミの回収 ・自然体験を通じた子どもの環境保全学習機会の提供 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り機による除草</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>伐採竹木の粉砕</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>回収されたゴミ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物・水質の調査と自然体験</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・外来植物は一度の駆除で終わらず数年をかけた駆除が必要になるものの、何度も駆除を進めてきたことで外来種の蔓延る面積が減少してきている。 ・ごみの捨てにくい景観作りにより、ごみの回収量が激減し環境課への報告が減少した。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑の中の熱中症対策、湧水や線状降水による増水での参加者辞退などに苦勞した。今後、作業の時間帯や作業量、実施時期の変更なども検討していきたい。 		
最終助成決定額	198,610 円		



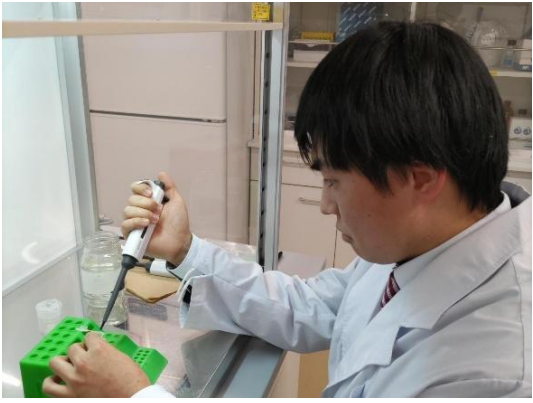
2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	実施日	2025 年 5 月、6 月 8 日、7 月 14 日、8 月 1 日、8 月 18 日、8 月 26 日～9 月 7 日
代表者	鈴木 勝行	活動場所	川越市、狭山市、入間市、坂戸市、日高市、飯能市、鶴ヶ島市、毛呂山町、ときがわ町、嵐山町、東秩父村、川島町（入間川、赤間川（入間川第 2 用水）、高麗川、葛川、都幾川、槻川、瀬戸川、唐沢川、谷川、一ト市川、雀川、田黒川、小畔川、南小畔川、北小畔川、霞川、東大谷川、西大谷川、飯盛川）
タイトル	入間川一斉水質調査及びマップ作成		
活動目的	多くの方々に身近な河川に関心を持ってもらうため、当会設立時から水質調査を行っている。水質調査の結果をマップ化して、荒川流域の環境団体、行政各機関、学校等に広く配布するとともにインターネット上で公開し、河川環境改善の啓発を行う。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 23 団体、2 大学、2 個人で一斉水質調査を実施し、水質調査結果を短期間で集約することができた。 ・ 参加団体及び関連団体に早期にマップを配布、インターネット上（ホームページ、Facebook）で公開。 ・ 2025 年度の調査結果を水質調査結果のグラフを表示するアプリ(Ar-WQ)に表示した。アプリは PC でもスマホでも利用できる。（https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査（坂戸市飯盛川）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域一斉水質調査マップ 2025</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加団体は地域の河川の経年変化を把握し活動につなげている。 ・ 今年度はデータ集約を早く進めることができ、水質マップの送付、インターネット上での公開が 8 月中にできたので、関係者は昨年度より早い時期に結果を把握することができた。 ・ 高齢化により参加不可となった団体に代わり、現役世代の団体の参加があるのは心強い。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ より高い精度の確保のために、貸与している EC メーターの状況把握を行い、不良の機器は、次年度に交換する予定。また、EC メーターの調整をサポートするよう段取りをする。 		
最終助成決定額	80,909 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	埼玉県立いずみ高等学校	実施日	2025 年 10 月 6 日、2026 年 2 月 9 日
代表者	竹前 泰治	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープ環境保全活動		
活動目的	荒川上流河川事務所、（公財）日本生態系協会、あらかわ市民環境サポーターの協力により、自然環境保護活動の一環でビオトープの管理活動を学び実践すること。生物サイエンス科での生態学の学びの中で、事前学習および事後学習を行い、環境保全についての学びを深めること。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹林の伐採及び、伐採した竹の除去活動 ・ 希少植物の埋土種子の発芽を促す管理作業（湿地の泥土をスコップや鍬を用いて耕うん、天地返し） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>竹の伐採</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>湿地の掘り起こし</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>湿地の掘り起こし</p> </div>		
活動の成果	・フィールドワークを意識した授業計画を行っている。自然と同じで直ぐには成果は現れないものの、後日希少な植物の発芽が観察されたなどの報告を受けると、意味のある管理作業であったことを実感できる。		
苦勞した点・改善点	・最も苦勞するのが日程調整であり、さいたま市内でイベント（遠足シーズン、Jリーグの試合など）があると、バスが確保できない場合がある。また、バス料金の高騰や、ドライバー不足による配車不可能な日が多くなっている。		
最終助成決定額	196,020 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	城西大学	実施日	2025 年 5 月 17 日～2026 年 2 月 26 日
代表者	藤野 陽三	活動場所	東秩父村、小川町、ときがわ町、東松山市、越生町、毛呂山町、鳩山町、坂戸市（槻川、都幾川、越辺川、高麗川とその支流）
タイトル	トウキョウサンショウウオの生息地の探索		
活動目的	里地里山の荒廃、耕作放棄地の増加に伴う産卵場所の消失や乾燥化、外来種の捕食により個体数が減少しているトウキョウサンショウウオ（埼玉県レッドデータブックで絶滅危惧 IB 類）について、環境を破壊してしまう恐れのある従来の捕獲を主とする調査方法ではなく、非侵襲的な環境 DNA 分析を用いた検出を目指す。		
活動内容	<p>・埼玉県内には同属のヒガシヒダサンショウウオが生息しているため、日本に生息するサンショウウオ類の DNA の塩基配列を比較し、トウキョウサンショウウオに特異的なマーカーを設計。そのマーカーを用いて、夏から冬に採水したサンプルの分析を実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境 DNA 分析のための採水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過作業</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>PCR 試薬調整</p> </div>		
活動の成果	<p>・設計したマーカーでトウキョウサンショウウオの DNA は増幅されるが、ヒガシヒダサンショウウオの DNA は増幅されないことが確認できた。また採水時に幼生が確認されている地点の水サンプルにおいても増幅されたため、特異的マーカーの開発に成功したと判断した。</p>		
苦勞した点・改善点	<p>・サンショウウオ類は魚類のように一年を通して水域に生息するわけではないため、採水時期により検出感度が大きく異なると考えられる。来年度は産卵期から幼生が上陸するまで時期の採水サンプルを解析し、最適な分析時期を検討していく。</p>		
最終助成決定額	200,000 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	実施日	2025 年 9 月～2026 年 2 月
代表者	愛場 謙嗣	活動場所	鳩山町（唐沢川、鳩川の支流・石場沼水域）
タイトル	鳩山における自然環境調査保全活動		
活動目的	生物多様性に富んだまとまった面積の里地里山が残る「石坂の森」（唐沢川流域）と鳩山町北部地区の「熊井の森」（鳩川・辻川流域）の環境の経年変化を多面的に継続監視し、調査データを基に自然を生かした地域づくりと生態系地域戦略づくり、里地里山の大切さの啓発活動を行うこと。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場排水路での採水 3 検体の農薬成分残留モニタリングを実施 ・休耕田でのビオトープ事業の実施（越辺川の支流・鳩川の水源のひとつである石場沼の谷津田にある休耕田を冬水田んぼビオトープ化し、用水路にカエル脱出装置を設置することで河川流域の生態系保護を図る、専門家を招いたビオトープ学習会を開催） ・「ウエスタ川越」での活動パネル展示 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゴルフ場排水路での採水の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>休耕田でのビオトープ整備</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>用水路にカエル脱出装置を設置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活動パネルの作成・展示</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場の排水路からは農薬 24 成分についての「流出」は認められなかった。 ・石場沼水利組合や下熊井地区第 4 組（区会）など地元の方々にビオトープづくりの意義を理解いただき、協力を得られた。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・分析対象農薬成分の特定に詳細な資料解説を要した。 ・地元の方々へのビオトープの意義の周知に勞を要したが、引き続き丁寧な説明に努めたい。また次年度には、生きもの調査とカエル保護およびアライグマ等の獣害対策にも取り組むたい。 		
最終助成決定額	192,295 円		


2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	ホトケドジョウ調査会	実施日	2025 年 5 月 11 日、7 月 21 日、10 月 25・26 日、11 月 24 日、2026 年 2 月 14 日
代表者	稲垣 喜弘	活動場所	坂戸市、毛呂山町（葛川およびその支流）
タイトル	越辺川流域のホトケドジョウを守る		
活動目的	ホトケドジョウ（県：絶滅危惧ⅠA類）の越辺川流域の調査を通して、ホトケドジョウやその生息環境を理解し、保全の意識を醸成し、成果を地域に還元する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・たも網調査（ガサガサ調査）で、国内外来種のカワムツの駆除と生息種の記録を実施。 ・埼玉県 の制度を利用し企業連携プロジェクトとしてモニタリング調査を実施。 ・自治体の自然環境講座、川の再生交流会で成果を発表すると共に、公益財団法人新しき村で現在行われている里山保全のための生きもの調査にデータ提供した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>モニタリング調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>モニタリング調査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>お魚観察用ケース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>武州ガスまつりでの展示ポスターと ホトケドジョウのペーパークラフト</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新しき村に提供したモニタリング調査結果は、自然環境調査報告書に掲載され、関係自治体、周辺図書館などに配布された。 ・ホトケドジョウへの影響を低減するため、モニタリング調査は 3 か所に限定して行い 17 匹のホトケドジョウを確認、あわせて 43 匹のカワムツを駆除した。 ・活動成果をプロジェクト活動報告のポスターセッションなどで報告した。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・調査機材を購入することができたが、保管場所の確保や管理をどうするか検討する必要がある。 ・大陸型ドジョウ（外来種）の同定が難しく、駆除も含めて行政や専門機関等からの対応の公示が待たれる。 		
最終助成決定額	181,355 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	上尾の自然を守る教職員の会	実施日	2025 年 4 月 13 日、9 月 28 日、 2026 年 1 月 11 日
代表者	赤羽 栄子	活動場所	上尾市、川島町、川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会		
活動目的	自然離れしている若い親子が、楽しく自然に接する体験をサポートする「親子自然塾三ツ又」を企画し、豊かな心を育んでもらう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動植物に詳しい講師による、楽しみながら学べる自然観察イベントの実施 ・ 他団体と協力した、三ツ又沼地域の調査・自然保全活動 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>自然塾「秋の虫観察と焼き芋を楽しもう」</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>自然塾「冬鳥の観察とヨシ刈り 昼は七草粥を楽しもう」</p>		
活動の成果	・ イベントの中で、なぜ外来種を抜くのか、なぜヨシ刈りするのかを講師の方に説明していただき、また自然観察を通して当たり前の自然のありがたさを実感していただいた。		
苦勞した点・改善点	・ 会員の高齢化のため、年々「つらい、大変、ぱっと動けない」状況となっているため、ボランティア募集を行うことも考えている。		
最終助成決定額	160,721 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	実施日	2025年4月1日～2026年2月28日までの 月2回程度
代表者	木ノ内 勝平	活動場所	上尾市、川島町、川越市（荒川／三ツ又沼ビ オトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理作業		
活動目的	地域の貴重な自然環境である三ツ又沼ビオトープ周辺の保安全管理		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々増加する帰化生物の除去（草刈り・抜き取り・捕獲） ・ 良好な湿地環境維持のための竹林、高木の伐採、ヨシ焼き ・ 貴重な地域在来野草保護として種子からの育苗と移植 ・ 外来種駆除、適度な草刈りによる草原の維持および管理作業時のチェーンソー、刈払機 使用における万が一に備えた保険の充実 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>育てた在来野草の移植</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>刈払機による草刈り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>修繕された刈払機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>新たに導入した暗視カメラ</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な湿地環境を整えるためのヨシ刈りや草原維持のための機械による適度な除草、竹林の伐採等計画通り作業が進んだ。 ・ 会員宅で育てられた在来植物の苗を適宜移植し、維持管理を実施した。 		
苦勞した点・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の年齢が上がってきており、作業に慎重にならざるを得ない。怪我や熱中症対策がさらに必要になってきたため、保険の充実が必要。 ・ 会員の高齢化を補う目的でボランティア募集サイトを利用し、若い力が即戦力となった。 		
最終助成決定額	200,000 円		

2025 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	川越の魅力を育てる会	実施日	
代表者	松村 隆	活動場所	
タイトル	麦生川「魚調査」		
活動目的			
活動内容			
活動の成果			
苦勞した点・改善点			
特記事項	河川管理者との調整がつかず、助成金交付辞退となった。		
最終助成決定額	—		